【総括表】

用途	防災倉庫

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	地区防災倉庫（挙母地区）	小坂町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする。

【個別表】

1	施設名	地区防災倉庫（挙母地区）

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	小坂町	延床面積	302.52 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
防災倉庫１	Ｓ造	2003	105.00	１階	
防災倉庫２	Ｓ造	2014	98.76	１階	
防災倉庫３	Ｓ造	2014	98.76	１階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
地区防災倉庫（挙母地区）の最も古い棟は、建築後１６年を経過し、経年による老朽化が考えられるが、現在のところ目立った損傷等はない。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
日常点検により、施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項

4　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。